

中部自治会防災ニュース

「備えあれば憂いなし第2回」 災害への備えとして、前号は家に居れない場合の非常持出袋を紹介したが、今号は在宅可能だが電気・水道・ガスなどの生活インフラが止まった場合や、周りの商店から生活必需品が無くなった場合の備えについて紹介します。これは中部の会員さんの実際の例です。

玄関・廊下の備え

鍵は一定の位置
においています

廊下に2か所大型懐
中電灯を下げてます

家では消火器を玄
関にも置いてます

地震があったら玄関の扉を開いておきます

居間の備え

勿論家具の転倒防
止は万全です！

救急セットは常に
見直しています

秋になったらカイ
ロを買いこみます

外・倉庫の備え

七輪と練炭を準
備してます

水は
3日分

2階には念
の為に梯子を用意！

ドッグフードは
1カ月分買
い込みます

風呂トイレの備え

トイレパックがあれば断水しても大丈夫

折りたたみ式水タンク(10ℓ)を用意してます

寝室の備え

手動ラジオを寝室に用意してます

閉じ込められ防止にボール類を寝室に！

携帯電話は肌身離さず！

ベッドの下には靴とヘルメットを

台所の備え

冷蔵庫にパン・うどんを常備してます

普段からお菓子を多めに買っておきます

ガスボンベとコンロは2台あります

缶詰・クラッカーなど日持ちするものを

リビングの備え

パパは冬のボーナスで蓄電池を買いました

単1と単3の電池は10個置いてます

単3電池を単1で使うアダプターもあります！

足漕ぎ充電器も用意しました

実にいろいろな工夫があるものじゃな。来月は最終号なので、今までのおさらいをしてみようかの。



12月3日に行われました中部自治会の防災訓練の様子を紹介いたします。
当日は大変な雨でしたが、多くの一般会員さんの参加もあり、評議員ともども訓練に励みました。



当日の指導者は、青葉消防署元石川出張所の干場所長さんと、我がまちの頼もしい消防団員の方々でした（青葉区消防団第1分団第9班）



干場所長の楽しく且つつぼを得たご指導で心肺蘇生法について勉強しました



心臓マッサージは、大変な力が必要で実際には2人ひと組でした方が良さそうです



室内で初期消火用具の説明を受けました。緊急な時こそ落ち着いて、安全第一の扱いが必要だそうです。



続いて雨の中、会員・評議員の皆さんが外に出て、初期消火訓練に参加しました



初期消火箱の中身です。消火栓開閉器、ホース、筒先の3点です。ホースは1本20mです



まず消火栓開閉器をマンホールの蓋の穴に差し込み、手前に引きます。力とコツが必要です。



次に消火栓開閉器を開閉栓（四角い突起）に差し込み、時計と反対回りに回すと水が出て来ました



開閉栓の隣にある吐出口にホースを「カチッ」と差込みます。差込みの確認は万全を期します。



あとはホースを伸ばし、開閉栓を時計と反対回りに回せば水が出ます。ホースのつなぎ部分が確実に繋がっているかの確認を忘れずに！



参加者がかわるがわるに筒先を持って放水してみました。実際には筒先を確実に持っておこなうこと、必ず2人で扱うことという注意がありました



団員の方のデモンストレーションでは、一杯に水を出し、数十m先まで届いたことを確認しました。



雨の中ご苦労様！防災ニュース第6号でも確認したとおり、このまちには3か所に初期消火箱がある。みんなが初期消火の訓練をすることは、大変有効なことと思うよ。今後に期待したいものじゃ